

生成 AI 活用診断レポート

導入済み生成 AI ・ AI 基盤を、「全員が使う道具」へ

〔クライアント企業名〕 御中

診断期間：〔YYYY 年 MM 月 DD 日～ MM 月 DD 日〕 報告日：〔YYYY 年 MM 月 DD 日〕

Meta Flow AI 望月 誠一 smochi@meta-flow-ai.com

エグゼクティブサマリー

経営判断に必要な結論のみを、このページに集約しています。

総合活用スコア

〔 58 〕 /100

利用実態 〔 〇 〕 〔 12 〕 /25

業務組み込み 〔 〇 〕 〔 10 〕 /25

統制・リスク 〔 〇 〕 〔 20 〕 /25

組織・スキル 〔 〇 〕 〔 16 〕 /25

結論 1| 現状

〔例：ライセンスの〇 % が月 1 回未満の利用。月額〇〇万円が実質的な埋没コストになっている。〕

結論 2| 要因

〔例：ツールの問題ではなく、業務プロセスへの組み込みと推進体制の不在が主因。〕

結論 3| 提言

〔例：優先 3 ユースケースに絞った 90 日定着プログラムで、アクティブ率〇 %→〇% を目指す。〕

診断の枠組み — 4つの観点、25点×4

「導入した」と「使われている」の間の谷を、4つの観点で構造的に測定します。

A. 利用実態

ライセンス消化率 / アクティブ率 / 利用頻度分布 / 部門・職種別の偏り

〔○〕 /25

B. 業務組み込み

業務プロセスへの組み込み度 / ユースケースの定義 / プロンプト・テンプレート資産

〔○〕 /25

C. 統制・リスク

利用ガイドライン / データ取り扱い / 監査ログ / シャドー AI の実態

〔○〕 /25

D. 組織・スキル

推進体制・責任者 / 教育プログラム / 現場チャンピオン / 経営コミットメント

〔○〕 /25

利用実態 — 数字が示す「眠っている AI」

IT 管理コンソール・利用ログから取得した実測値。

〔 300 〕

契約ライセンス数

〔 42% 〕

月間アクティブ率

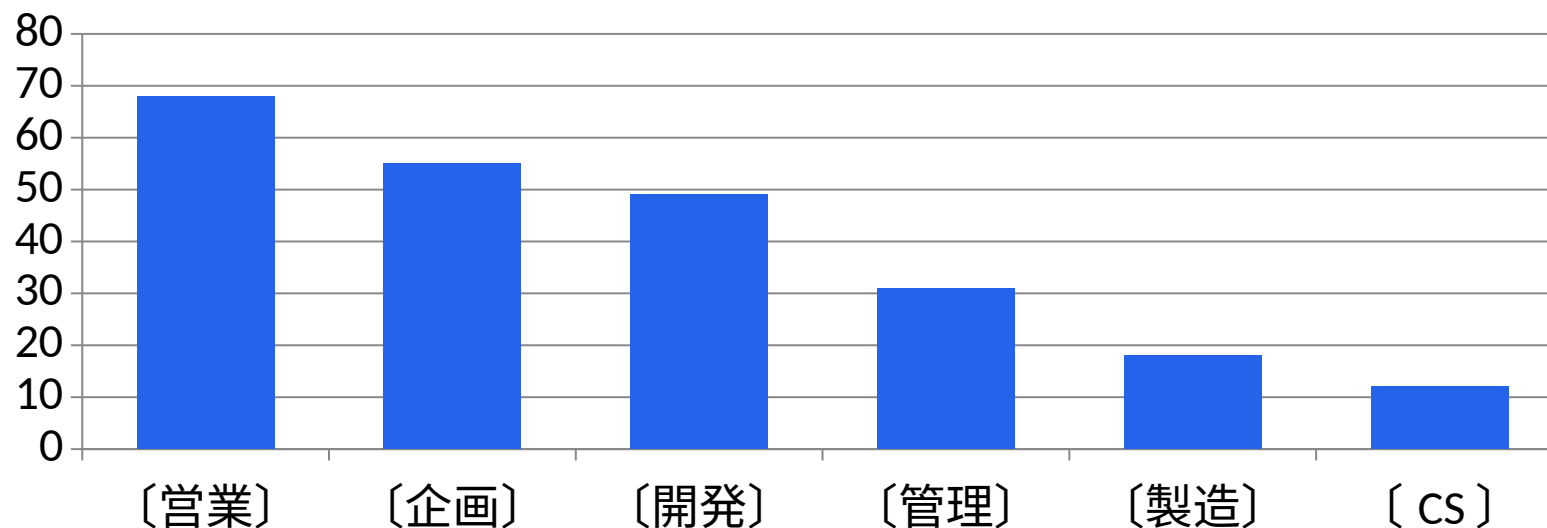
〔 18% 〕

週 1 回以上の利用者

〔 ¥174 万 〕

埋没ライセンス費 / 月

部門別 月間アクティブ率 (%)



読み取り

〔例：利用は営業・企画に偏在。製造・CS はほぼ未着手で、ここに最大の伸びしろがある。〕

部門別スコアカード

4 観点を部門単位に分解。濃い色ほど活用が進んでいる領域。

部門	利用実態	業務組み込み	統制	組織・スキル	総合
〔営業〕	〔 18 〕	〔 14 〕	〔 20 〕	〔 15 〕	〔 67 〕
〔企画〕	〔 15 〕	〔 12 〕	〔 20 〕	〔 14 〕	〔 61 〕
〔開発〕	〔 14 〕	〔 13 〕	〔 21 〕	〔 12 〕	〔 60 〕
〔管理〕	〔 9 〕	〔 8 〕	〔 19 〕	〔 10 〕	〔 46 〕
〔製造〕	〔 5 〕	〔 4 〕	〔 18 〕	〔 7 〕	〔 34 〕
〔CS〕	〔 4 〕	〔 3 〕	〔 18 〕	〔 6 〕	〔 31 〕

評価基準：〔各観点 25 点満点。定義は付録参照。〕 ／ 濃淡・要注意セルは診断結果に応じて着色してください。

なぜ使われないのか — 3つの構造要因

ツールの能力不足ではなく、組織の構造に原因があります。

要因 1

業務に組み込まれていない

〔例：「便利だから使って」で止まり、どの業務のどの工程で使うかが定義されていない。〕

要因 2

推進の責任者が不在

〔例：IT 部門は「配った」まで、事業部門は「様子見」。定着のオーナーが空白になっている。〕

要因 3

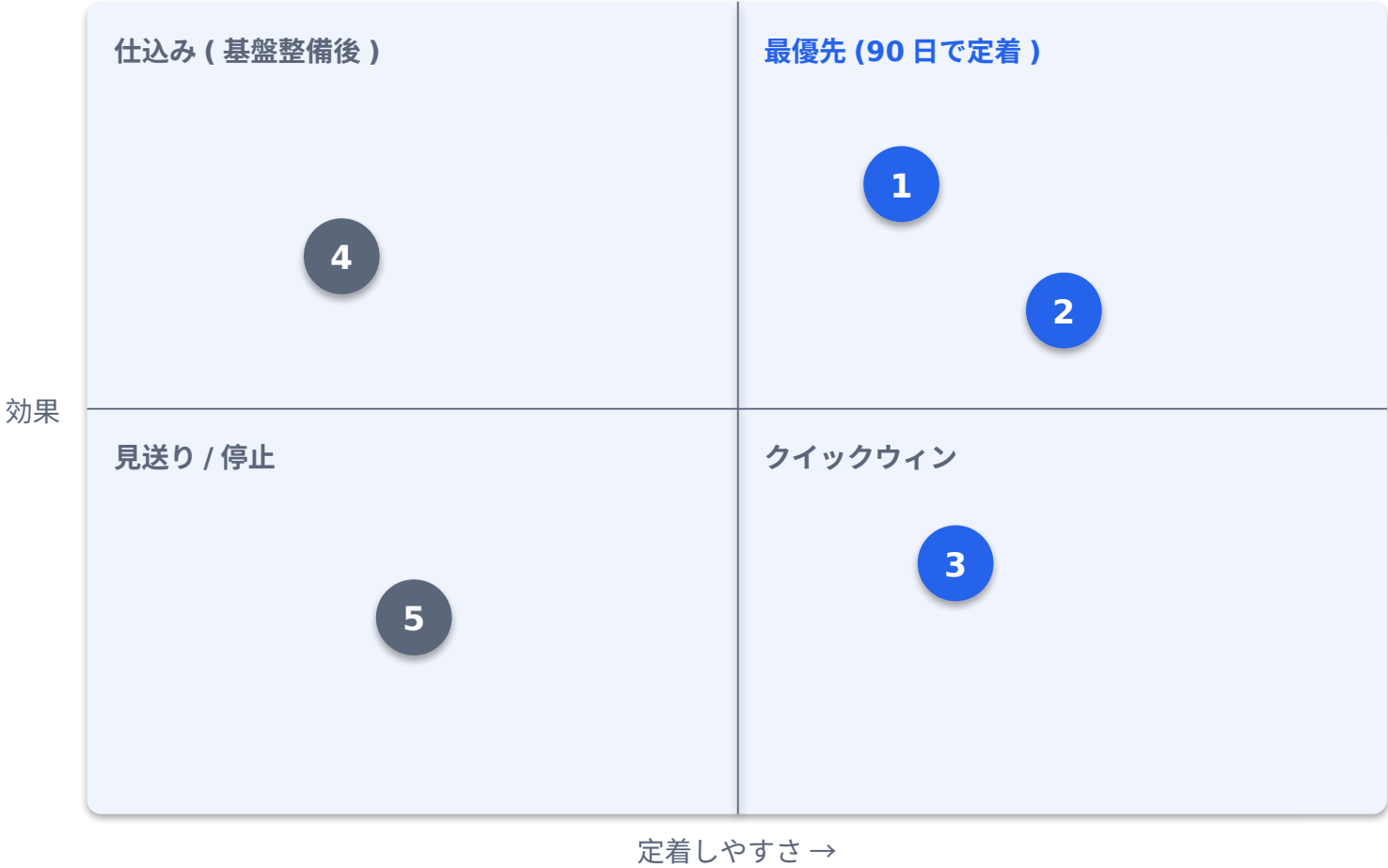
成功体験が共有されない

〔例：一部のヘビーユーザーのノウハウが個人に閉じ、横展開の仕組みがない。〕

※ 診断で確認された事実（ヒアリング・ログ）を各要因の根拠として記載してください。

ユースケース棚卸しと優先度

効果 (縦) × 定着しやすさ (横)。右上から着手します。



ユースケース一覧

- 1. [ユースケース名 1]
- 2. [ユースケース名 2]
- 3. [ユースケース名 3]
- 4. [ユースケース名 4]
- 5. [ユースケース名 5]

※ 番号はマトリクス上のプロットと対応

投資対効果 — 放置のコストと、定着の効果

「何もしない」 ことにも毎月コストが発生しています。

現状のまま（放置シナリオ）

埋没ライセンス費：〔¥174 万 / 月 = ¥2,088 万 / 年〕

非効率業務の継続：〔削減可能工数 ○ h / 月 相当〕

組織の AI 疲労：次の AI 投資の稟議が通らなくなる

競合との使いこなし格差の拡大

90 日定着プログラム後（目標）

月間アクティブ率：〔42% → 75%〕

優先 3 ユースケースの業務標準化

削減工数：〔○○ h / 月 (¥○○ 万相当)〕

投資回収：〔プログラム費用を○ヶ月で回収見込み〕

90 日 定着ロードマップ

診断（本レポート）を起点に、4 フェーズで「使われる AI」に変えます。



※ PHASE 1 が本診断に該当します。PHASE 2 以降の詳細計画は、本レポートの合意後 2 週間以内にご提示します。

推奨アクション

即着手・30日・90日の3段階。責任者と期限をセットで。

今すぐ（～2週間）

〔例：未利用ライセンスの棚卸しと契約最適化〕

担当：〔〇〇〕／期限：〔MM/DD〕

〔例：活用推進オーナーの任命〕

担当：〔〇〇〕／期限：〔MM/DD〕

〔例：利用ガイドラインの周知再徹底〕

担当：〔〇〇〕／期限：〔MM/DD〕

30日以内

〔例：優先3ユースケースの業務手順への組み込み〕

担当：〔〇〇〕／期限：〔MM/DD〕

〔例：部門チャンピオン（各部1名）の選任〕

担当：〔〇〇〕／期限：〔MM/DD〕

〔例：プロンプト・テンプレート集の初版公開〕

担当：〔〇〇〕／期限：〔MM/DD〕

90日以内

〔例：全部門への展開と利用KPIの定例レビュー化〕

担当：〔〇〇〕／期限：〔MM/DD〕

〔例：教育プログラム第1期の完了〕

担当：〔〇〇〕／期限：〔MM/DD〕

〔例：成果事例の社内共有会の実施〕

担当：〔〇〇〕／期限：〔MM/DD〕

「宝の持ち腐れ」を、 次の四半期で終わらせる。

ご契約形態

時間単価：¥7,500/時 (2026 年 7 ～ 9 月末の期間限定単価)

月次伴走：設計・実装・定着まで並走

初回相談：¥0 / 30 分

お問い合わせ

Meta Flow AI 望月 誠一

smochi@meta-flow-ai.com

<https://meta-flow-ai.com>